

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

|      |                  |      |   |              |    |      |      |     |  |
|------|------------------|------|---|--------------|----|------|------|-----|--|
| 政策   | 04 安全で快適な都市生活の充実 |      |   |              |    |      |      |     |  |
| 施策   | 04 市街地整備の充実      |      |   |              |    |      |      |     |  |
| 基本事業 | 03 安全で憩える公園の整備   |      |   |              |    |      |      |     |  |
| 開始年度 | 平成15年度           | 終了年度 | — | 実施計画<br>事業認定 | 対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 |  |

|   |  |
|---|--|
| <b>事務事業の目的と成果</b>                       |  |
| 対象（誰、何に対して事業を行うのか）                      |  |
| 市民参加による再整備公園                            |  |
| 手段（事務事業の内容、やり方）                         |  |
| 再整備が必要な公園を選定し、地域子ども達や自治会の参加により実施する。     |  |
| 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）            |  |
| 市民参加により市民協働のシンボルとなる地域に親しまれる公園として改修整備する。 |  |

| 指標・事業費の推移 |            |    |        |        |        |        |
|-----------|------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分        |            | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
| 対象指標1     | 再整備公園数     | カ所 | 1      | 1      | 0      | 1      |
| 対象指標2     |            |    |        |        |        |        |
| 活動指標1     | ワークショップ開催数 | 回  | 4      | 0      | 4      | 4      |
| 活動指標2     |            |    |        |        |        |        |
| 成果指標1     | 累計整備公園数    | カ所 | 9      | 10     | 10     | 11     |
| 成果指標2     |            |    |        |        |        |        |
| 事業費(A)    |            | 千円 | 32,108 | 31,106 | 900    | 9,824  |
| 正職員人件費(B) |            | 千円 | 4,816  | 3,206  | 2,344  | 7,824  |
| 総事業費(A+B) |            | 千円 | 36,924 | 34,312 | 3,244  | 17,648 |

|      | 事業内容（主なもの）       | 費用内訳（主なもの）   |
|------|------------------|--------------|
| 25年度 | ・ワークショップ運営経費、調査費 | ・一般委託料 900千円 |

|   |  |
|---|--|
| <b>事業を取り巻く環境変化</b>  |  |
| <b>事業開始背景</b>   |  |
| ワークショップを行い整備内容を地域と共に考え地域に根ざした特色ある公園整備を市民協働で進めるため。   |  |
| <b>事業を取り巻く環境変化</b>  |  |
| 現在の再整備状況では年1カ所程度しか改修できない状態にある。市内の公園の老朽化は、将来の修繕費の高騰、公園の安全性の低下に繋がるが、現下の経済情勢では、全ての公園の改修は困難であるため、モデル的な公園整備を進める一方、利用状況の少ない公園については、施設内容から見直しが求められてきている。 |  |

|  |   |
|--|---|
| <b>平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）</b>                      |   |
| <b>(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？</b>      |   |
| 妥当である<br>妥当性が低い  | <b>理由根拠</b><br>都市公園法第二条の三（都市公園の管理）都市公園の管理は、地方公共団体の設置に係る都市公園にあっては当該地方公共団体が（省略）行う。    |
| <b>(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？</b>                            |   |
| 貢献度大きい<br>貢献度ふつう<br>貢献度小さい<br>基礎的事務事業                      | <b>理由根拠</b><br>本事務事業は、市民参加により、市民満足度の高い改修整備計画を立案し、それを施工することであるから、基本事業への貢献は大である。      |
| <b>(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？</b> |   |
| 上がっている<br>どちらかといえば上がっている<br>上がらない                          | <b>理由根拠</b><br>年に1公園ではあるが着実に再整備が進んでいる。  |
| <b>(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？</b>                 |   |
| 成果向上余地 大<br>成果向上余地 中<br>成果向上余地 小・なし                        | <b>理由根拠</b><br>毎年行う市民参加による公園づくり事業のヶ所数を増す。   |
| <b>(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>          |   |
| ある<br>なし   | <b>理由根拠</b><br>再整備に当たり、利用できる施設は最大限利用するなど、コスト低減に努めてきたが、今後は、国の補助を活用することで、更なるコスト低減を図る。 |